

# MS&AD Report

中間ご報告 2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

MS&AD MS&ADインシュアランスグループ

証券コード：8725

## リスクソリューションの プラットフォーマーとして 気候変動をはじめとした 社会課題の解決に貢献し、 社会とともに成長していきます。

取締役社長 グループCEO

原典之



### ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、ここに2022年度中間期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）のご報告をお届けします。2022年度中間期の正味収入保険料は2兆954億円、グロス生命保険料収入は7,724億円となり、昨年度の水準を上回りました。一方、この中間期は、国内、海外ともに大規模な自然災害が発生したことや、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う生命保険・傷害保険での支払の拡大、ロシアによるウクライナ侵攻の影響、金利・為替の大規模な変動などの影響により、中間純損益は前期比1,584億円減益の335億円の損失、グループ修正利益は前期比1,762億円減益の74億円となりました。この中間期の状況を踏まえ、通期の当期純利益は、1,400億円、グループ修正利益は、1,700億円に、年初予想を下方修正することと致しました。しかしながら、今期に発生した下方修正の要因の多くは一過性の事象であり、次年度以降は、順調に業績回復する見込みです。当社グループの基礎的な収益力はグループ発足以来着実に向上してきており、中期経営計画（2022-2025）の定量目標である4,700～5,000億円の利益、修正ROEは安定的に10%以上をめざすことに変更はありません。あわせて、利益のボラティリティの抑制へ向け、自然災害リスク削減や事業ポートフォリオ分散などの取組みは今後も強化してまいります。

当社は安定的な配当を行うことを基本とし、グループ修正利益の50%を原資とした基本的還元に加え、市場環境・資本の状況等も踏まえ、機動的・弾力的に追加的還元を実施する方針としています。今年度の配当金につきましては、今年度業績および今後の業績動向見通しを踏まえ、年間予想を1株当たり185円から200円に引き上げ、中間配当は期初予想92.5円から7.5円増額し、1株当たり100円と致します。

当社グループは、「レジリエントでサステナブルな社会」を支える企業グループとして、次の3つの実現をサステナビリティ重点課題に据え、さまざまな取組みを進めていきます。

- (1) 地球環境との共生 (Planetary Health)  
気候変動対策として、ビジネススタイル変革を推進し、ガソリンや電力使用量の削減を進めるとともに、保険契約等のWeb化によるペーパーレス化で紙使用量の削減を進め、温室効果ガスの排出量を2019年度対比で2030年度に50%削減し、2050年度にはネットゼロとすることを目標に掲げています。
- (2) 安心・安全な社会 (Resilience)  
社会構造の変化や新たな技術の進展に伴って生じるさまざまなリスクに対しても強靱な社会を創るべく、新たなリスクをカバーする各種の商品・サービスを開発・提供しています。また、防災・減災、地方創生にも積極的に取り組むことで、社会の安定的な発展に貢献していきます。
- (3) 多様な人々の幸福 (Well-being)  
保険事業を営むグループとして「健康・長寿社会への対応」は、極めて大切であり、健康増進、未病・重症化予防や、人生100年時代における資産寿命の延伸に資する商品などを提供していきます。また、グループ内に限らず、サプライチェーンも含めた「人権尊重」を推進していきます。「社員のエンゲージメント向上」は、すべての取組みの礎になるものであり、グループの持続的な成長のために、社員のやりがい・働きがいを向上させていきます。

当社グループでは、グループ誕生以来、「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて安心・安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」ことをミッションに掲げてきました。2015年度には価値創造ストーリーを策定し、2018年度からは社会課題の解決とともに成長するCSVの考え方を経営の基盤において、事業を展開してきました。昨今、パーパス経営を掲げる企業が増えてきましたが、当社グループではその概念を先取りして実践してきたと考えています。現中期経営計画（2022-2025）においても、社会課題に向き合い、お客さまに安心と安全を提供する価値創造ストーリーをベースに、「ミッション」の実現をめざしていきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループの取組みにご期待いただき、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



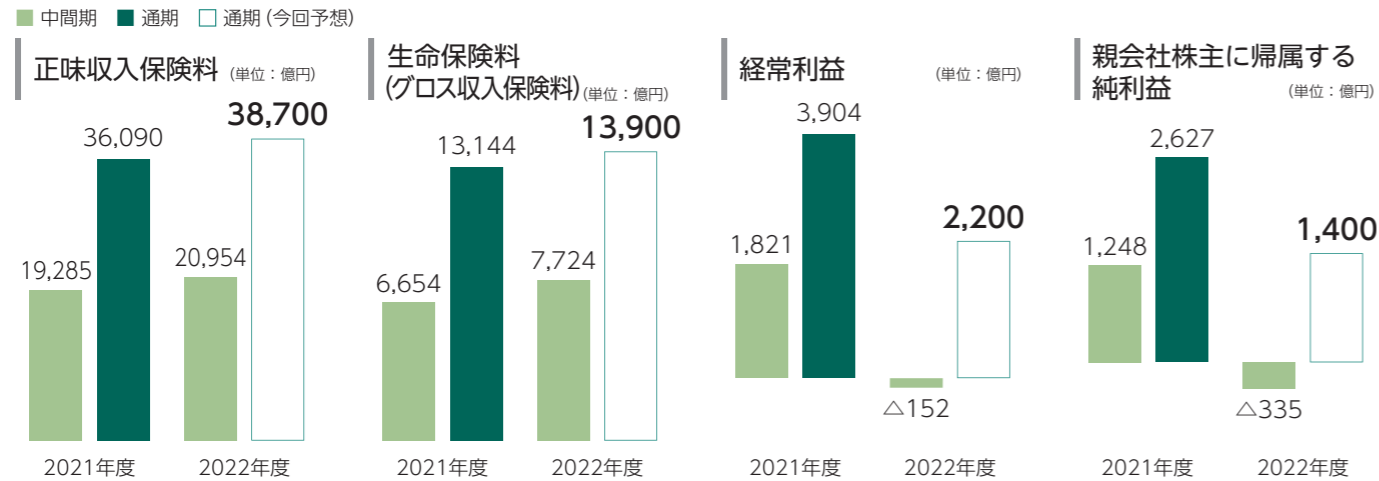
# 中期経営計画（2022-2025）のめざす姿と基本戦略

## 連結業績および通期業績見通し等

正味収入保険料は、前年同期比1,669億円増収の2兆954億円となりました。国内損害保険子会社は、過年度の保険料率引下げ改定影響によって自賠責保険は減収となりましたが、火災保険が大きく増収し、自動車保険や新種保険は横ばいでした。海外子会社は欧州地域等で増収となりました。

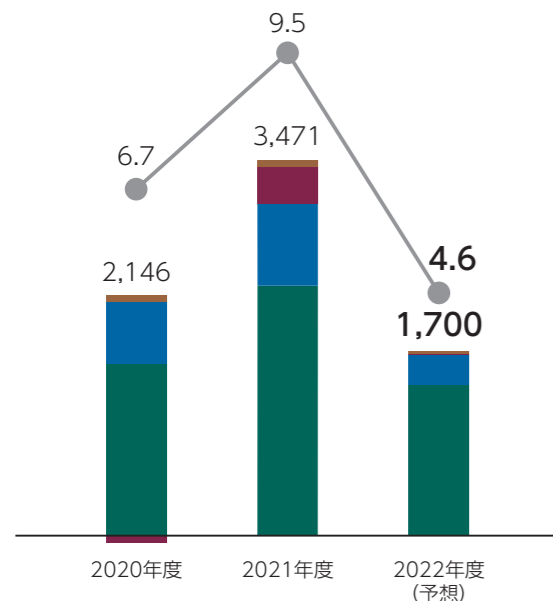
国内生命保険子会社の生命保険料（グロス収入保険料）は、資産形成型商品の販売が好調で前年同期比1,070億円増収の7,724億円となりました。

親会社株主に帰属する中間純損益は、国内外で発生した大規模な自然災害や新型コロナウイルス、ロシアによるウクライナ侵攻に関連する損害等、一過性の事象を主因に、前年同期比1,584億円減益の335億円の損失となりました。年間の純利益予想は、年初予想の2,400億円を1,400億円に下方修正しました。



## グループ修正利益 (億円) とグループ修正ROE (%) の推移

■ 国内損保事業 ■ 国内生保事業 ■ 海外事業  
■ 金融サービス事業/リスク関連サービス事業  
● グループ修正ROE

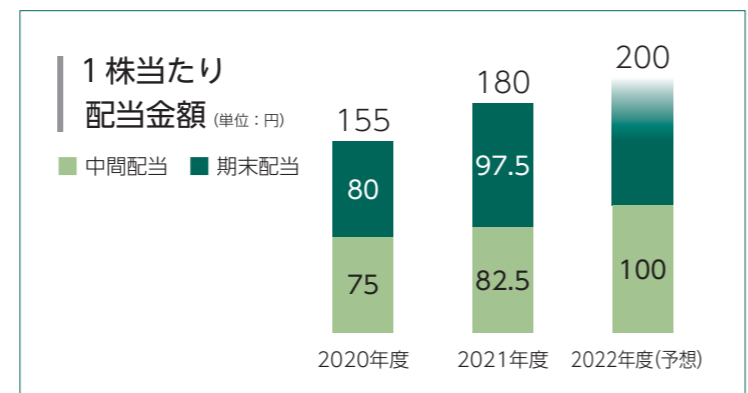


## 株主還元について

当社は安定的な配当を行うことを基本とし、グループ修正利益の50%を原資とした基本的還元に加え、市場環境・資本の状況等も踏まえ、機動的・弾力的に追加的還元を実施する方針としています。

2022年度の1株当たり配当金は、2022年度の業績および今後の業績動向の見通しを踏まえて、年間予想を1株当たり185円から200円に引き上げます。中間配当は期初予想92.5円から7.5円増額し、1株当たり100円とします。

なお、2021年度の株主還元として設定した総額750億円の自己株式取得については、2022年9月に取得完了しております。



## めざす姿

### 定性目標

レジリエントでサステナブルな社会を支える企業グループ

### リスクソリューションのプラットフォーマー

として気候変動をはじめとした社会課題の解決に貢献し、社会とともに成長していく

- 経済的な損失の補てんに加えて、補償・保障前後における商品・サービスをシームレスに提供する
- デジタルを活用したマーケティング、アンダーライティング、損害サービス、リスクコンサルティングにより、最適なソリューションを提供する

### 定量目標

2025年度 IFRS純利益で4,700億~5,000億円

修正ROE\*で安定的に10%以上を達成

\* IFRS純利益 ÷ (IFRS純資産 - 政策株式の含み損益) (IFRSでは、政策株式の売却損益が純利益に含まれなくなることから、ROEの分母(純資産)・分子(純利益)の基準を揃えるため、純資産から政策株式の含み損益を除く)

## 基本戦略

### Value (価値の創造)

- CSV×DXをグローバルに展開することで、全てのステークホルダーに価値を提供し、企業価値を向上させます
- ビジネス・商品・サービスの収益性を高め、収益基盤を強化します

### Transformation (事業の変革)

- 新たなビジネスの創造等、事業の構造を変革し、事業環境の変化に適応していきます
- 事業・商品・リスクポートフォリオを変革し、安定的な収益基盤を構築します

### Synergy (グループシナジーの発揮)

- グループの多様性を活かし、連携を強化することで、一層の成長を実現します
- グループ共通化・共同化・一体化を深化させることで、生産性を向上させます
- グローバルベースでシナジーを発揮します

## 2025年度利益目標の達成構造

グループ修正利益（日本基準）は、2021年度に含まれる特殊要因+450億円※を除いた実力値3,021億円から、今後4年間で約1,380~1,680億円の増益をめざします。

増益額の内訳は、国内損害保険事業における火災保険の収支改善・新種保険の利益拡大等で約800億円、国内生命保険事業における三井住友海上あいおい生命のクロスセル率アップなどを主因に約100億円、海外事業におけるMS Amlinの利益成長を主因に約680億円を見込んでいます。

	2021年度実績 (特殊要因除き)	2025年度 (見通し) グループ修正利益	2025年度目標 IFRS純利益
合計	3,021	4,400~4,700	4,700~5,000
国内損害保険事業	1,897	2,700程度	
国内生命保険事業	457	550程度	
海外事業	603	1,250程度	
金融サービス事業・リスク関連サービス事業	63	100程度	

※ 内訳は、国内自動車ロスの年平均対比250億円、初年度収支取崩160億円、円安に伴うターゲットヒットによる三井住友海上プライマリー生命の増益300億円、海外自然災害ロスの年平均対比△260億円

# 会社概要／株式の状況

## 会社概要 (2022年9月30日現在)

社名	MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
本店所在地	東京都中央区新川二丁目27番2号
設立	平成20年(2008年)4月1日
資本金	100,808,853,917円
従業員数	38,944名(連結)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵送物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社および 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。 <a href="https://www.ms-ad-hd.com/ja/ir/notification.html">https://www.ms-ad-hd.com/ja/ir/notification.html</a>

## 株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行済株式の総数	593,767,347株
株主数	77,059名
所有者別株式分布状況	
外国人・外国法人	16,315万株 (27.5%)
金融機関	19,760万株 (33.3%)
個人・その他	11,593万株 (19.5%)
その他国内法人	8,977万株 (15.1%)
証券会社	2,730万株 (4.6%)

## 株式に関するお手続きについて

- お受け取りがお済みでない配当金を受け取るお手続き  
三井住友信託銀行株式会社までお申し出ください。  
なお、配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。
- その他のお手続き  
(1) 証券会社に口座をお持ちの場合：お取引先の証券会社へお申し出ください。  
(2) 証券会社に口座をお持ちでない場合：特別口座での管理となっておりますので、三井住友信託銀行株式会社または三菱UFJ信託銀行株式会社へお申し出ください。

**配当金を「配当金領収証」で受領されている株主さま**  
配当金を銀行等の預金口座へ入金する手続きをしていただきますと配当金支払開始日に株主さまご指定の口座に振り込まれ、迅速かつ安全・確実に配当金をお受け取りいただくことができます。

振込手続きをご希望の株主さまは上記「2.その他のお手続き」に記載の証券会社または信託銀行へお申し出ください。

お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-782-031

三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1番地の1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711

## 会社法改正による株主総会資料(招集通知)の電子提供制度スタートについて

2023年3月以降の株主総会(当社では2023年6月下旬予定の次回定時株主総会)より、これまで郵送していた株主総会資料が原則ウェブ化されます。株主の皆さまは、会社からご案内するウェブサイトにアクセスすることで、株主総会資料の全文をご確認いただけます。リーフレットを同封しておりますので、詳細につきましてはそちらをご参照ください。

### <株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先>

三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

☎ 0120-533-600

受付時間：9:00～17:00  
(土・日・祝日および12/31～1/3を除く)

